



特集 里親支援の最前線 —— フォスタリング機関の仕事とは？

里親制度を支える“縁の下の力持ち”——それがフォスタリング機関の職員たちです。当法人では、60名を超える専門職が、里親家庭の支援、委託調整、地域連携、広報、自立支援など多岐にわたる役割を担っています。しかし、その仕事の中身は、意外と知られていないかもしれません。今回の特集では、フォスタリング機関の職種ごとの仕事内容を紹介しながら、こどもと里親を支える現場の様子や、職員の思いに触れていきます！



里親家庭には、0歳から18歳まで、多様なニーズをもつ子どもたちがやってきます。家族と離れざるを得なかった子どもにとって、里親家庭が「安心・安全な基地」となることはとても大切で、重要な「場所」と「大人のモデル」を提供します。しかし、さまざまな体験や想いを抱えた子どもと向き合い養育することは、里親さんだけでは難しい場合があります。

二葉乳児院では、4カ所の都立児童相談所、6カ所の特別区児童相談所のフォスタリング機関事業を立ち上げ当初から受託し、今年10月には港区児童相談所が「里親支援センター みなぼる」を開所しました。スタッフ全員が「Children First」という理念を基盤に、子どもと里親さんのためにできることを模索し、時には新しい仕組みを作りながら寄り添っています。

（二葉乳児院 院長 兼 全体統括責任者 長田 淳子）



私たち多摩フォスタリング機関（通称「たまふおす」）は、業務開始から6年目を迎えました。「フォスタリング機関」という言葉すら知られていない中でのスタートでしたが、試行錯誤を重ね、今では皆さまの支えにより「たまふおす」が浸透し、多くを任せていただけるようになりました。スローガンは「子どもにあったか安心を みんなでつなげるたまふおす」。子どものための里親制度にこだわり、「かゆいところに手が届く存在」として、考えるだけでなく実践することを職員に伝えています。

里親さんに安心していただくことはもちろん、「この子にとっての最善は何か」「子どもの意向はどこにあるのか」を常に問いながら、日々業務に取り組んでいます。

（二葉学園 多摩フォスタリング機関 統括責任者 青木 貴志）



昨年4月に「さとねり」がスタートしました。フォスタリング機関事業は、子どもたちが里親家庭で安心して暮らせるよう、包括的に支援することを目的としています。現在、職員は8名です。里親のリクルート、研修、里親家庭支援など、それぞれ担当業務は決まっていますが、研修や相互交流、地域のイベントなどは、全員で協力しながら進めています。職員間のスムーズな連携のため、週1回の会議で計画などの議題について意見を出し合い、共有しています。この会議は、職員が「どんな思いで何をやりたいのか」をお互いに理解し合う場にもなっています。

里親家庭と信頼関係を築くためには、里親子への理解を深めることが重要です。直接支援を担当しない職員も含め、日頃から子どもたちの様子などを伝え合い、「さとねり」全体で里親家庭を応援していきたいと考えています。

（二葉むさしが丘学園 練馬フォスタリング機関 統括責任者 中島 理子）



フォスタリング機関のお仕事内容紹介



里親委託等推進員

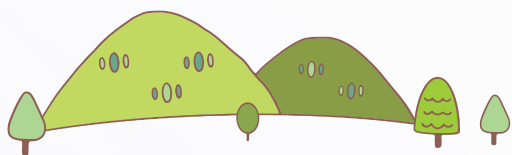


里親等相談支援員の仕事は、里親家庭を訪問したり電話で相談を受けたりしながら、養育に関する悩みに寄り添うことです。家事・育児支援事業との調整や、里親家庭同士の交流企画も行っています。また、子どもの家庭復帰を進める際には、子どもと実親と一緒に過ごせなかった時間を埋めるための取り組みや、再び愛着を育めるような交流支援も実施しています。

里親さんが子どもと信頼関係を築けるよう、子どもの行動の背景を一緒に考えたり、言葉で気持ちを表現することが苦手な子どもの思いを代弁し、里親子がお互いを理解し合えるような支援を大切にしています。さらに学校の先生など関係機関とも情報共有し、チームで里親家庭を支える体制づくりにも努めています。

支援者である私自身も、里親さんの愛情ややさしさに支えられ、日々多くのことを学ばせていただいています。

(江戸川区フォスタリング機関 行方 信)



里親トレーナー



里親トレーナーは、里親登録を希望する家庭や登録済みの家庭に対し、研修を通じてメッセージを伝えています。内容は、里親制度や社会的養護のお子さんと生活するうえでの理解、協力してほしいこと、支援者とともに伴走する姿勢、チーム養育のあり方などです。

研修には、登録前・登録後・更新時・受託後・乳児委託・専門養育更新時の必須研修に加え、希望制のスキルアップ研修やその他の研修があります。家庭のニーズや子どもの背景はさまざま、研修内容や講師の検討にはフォスタリング機関内の協力が欠かせません。

里親さんや子どもの視点を大切にし、養育の大変さだけでなく楽しさも伝えられる研修を目指しています。



(多摩フォスタリング機関 井原 紗綾)



里親委託等調整員



私は主に里親登録前の方の支援を担当しています。具体的には、里親登録の入口となるインテイクや家庭調査を行っています。里親制度に関心を持ってくださる方の背景はさまざま、面接中に思いがあふれ涙を流される方もいます。それぞれの背景や「里親になりたい」という思いを大切にしながら、社会的養護のお子さんが安心して生活できるようサポートしています。

児童養護施設職員とは違い、直接子どもと関わる仕事ではありませんが、里親家庭で生活する子どもたちを包括的に支援する中で、新しい家族を迎える里親さんの不安や期待、そして子どもたちの思いに丁寧に耳を傾け、少しずつ信頼関係が育っていく過程に寄り添えることにやりがいを感じています。

今後も、里親家庭が特別な存在ではなく、地域に根付いた“ひとつの家族のかたち”として当たり前にあるよう、支援を続けていきたいと思っています。

(練馬フォスタリング機関 白瀧 桜子)



自立支援相談員



自立支援相談員として、養育家庭に委託されている中高生以上の児童と里親、さらに里親家庭を出たユースや元里親を対象に支援を行っています。委託中は、里親や児童相談所と連携し、児童の状況や進路の意向に合わせて動きます。児童との面談では、進学先の整理や奨学金申請のフォロー、里親さんへは進路情報の提供を行っています。

どんな制度を使うか、奨学金は何かよいかなど、大人同士の話にならないよう、児童自身が「自分のこと」として考えられるよう資料作りや説明方法を工夫しています。自分で伝える難しさもあるため、講師を招いて中高生対象の学習会も開催しています。

ユースとの関わりはまだ少ないですが、本人の状況に合わせて必要な手続きの同行や様子伺いの訪問を行い、関係性を築いています。フォスタリング機関は措置解除後10年間関わるができるため、細く長く



「味方」でいられる存在でありたいと思い、日々の関わりにも気を配っています。

(練馬フォスタリング機関 櫻井 美幸)



区市町村連携コーディネーター・里親リクルーター



区市町村連携コーディネーターは、区と連携して、里親の新規開拓や普及啓発を行っています。

里親制度に興味・関心のある方に向けて、説明会や相談会を開催するほか、地域のお祭りやイベントに出展し、制度を広く知っていただくための普及啓発活動をしています。また、地域のスポーツチームと連携をし、キャラクター同士のコラボグッズの作成・配布をするなど、里親制度を知っていただく機会に繋がっています。

さらに、里親制度や里親家庭について、理解を深める場として、地域のカフェをお借りしての里親さんによるお話会や、養育家庭(里親)体験発表会も実施しています。

加えて、各区の広報誌イベントや説明会の案内の掲載依頼をしたり、里親制度の出前講座の実施をするなど、区や地域と連携しながら業務を行っています。

フォスタリング機関がチーム一体となって、「里親



になってくださる方を増やすこと」「里親家庭の皆さんが生活しやすい地域づくり」を目指しています。

(江東フォスタリング機関 狩野 優)



区市町村連携コーディネーター・里親リクルーター



私は、里親制度をより多くの方に知ってもらうための広報や企画を担当しています。体験発表会の運営をはじめ、制度説明会や地域イベントなど、身近な場所で制度に触れてもらえる機会づくりに取り組んでいます。チラシやポスターなどの広報物制作や、SNSで里親さんの思いや日々の暮らしを発信することも大切な仕事です。

反響を感じる一方で、「制度は聞いたことがあるけれど詳しく知らない」「自分にできるか不安」という声も多く、どうすれば一歩を踏み出してもらえるかを日々模索しています。

それでも、イベントで「里親さんの話を聞いて心が動いた」と言ってくれたら、この仕事の意味を実感します。少しでも多くの方に里親制度を知っていただくことが、里親さんが暮らしやすい地域づくりにつながるのだと思っています。

これからも、里親制度を“特別なこと”ではなく、“ひ



とつの家庭のかたち」として感じてもらえるよう、正しく丁寧に伝え続けていきたいと思っています。

(多摩フォスタリング機関 戸田 桃子)

訃報 小倉要先生 ご逝去のお知らせ

当法人常務理事・二葉学園施設長の小倉要先生が、2025年11月17日、63歳にてご逝去されました。

小倉先生は34年もの長きにわたり、法人理念「こどもの最善の利益をめざして」を体現し、深い愛情と専門性をもって児童福祉の実践に尽力されました。こども一人ひとりの人生を支え、職員が協働できる職場づくりを推進するとともに、社会的養護の重要性を広く社会に伝えられました。

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



役員交代のお知らせ

2025年6月26日付で当法人の役員交代が行われ、新体制となりました。ここで、理事長より皆様へのご挨拶をお届けします。

「キリストの愛の精神に基づき、すべてのこどもが愛され、心身ともに健やかに育つことを願い、特に困難な状況にあるこどもたちが、分け隔てなく、愛と理解と敬意をもって養育されるように」という二葉の創始者の理念は、震災や戦災など幾多の苦難を経て、

125年後の今日も受け継がれています。私はこの理念に深く感銘を受け、大学卒業と同時に二葉乳児院の職員となり、保育士・里親支援ワーカーとしてこどもたちと共に8年間を歩みました。その後は母校に戻り、次代を担う保育士・社会福祉士の養成に28年間携わっております。この間も学生の教育や就職等で、また評議員や監事の務めを通して二葉とかかわり続けてまいりました。このような経緯を経て、本年6月に社会福祉法人二葉保育園理事長を拝命いたしました。こどもの声がいつも聞こえる場で、全力を尽くす所存です。

二葉は、ひとりひとりの個性を尊重し、かけがえのない人生を自分らしく生きられるよう、ともに考え、ともに歩んでまいります。その原動力は、400人を超える多様な専門性を持つ職員にあります。人財育成に取り組み、多様な意見や専門性を尊重しながら、最後は「こどもとともに」という理念に立ち戻り、協働して前進してまいります。

二葉をお支えくださる皆様に深く敬意と感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。
(理事長 金子恵美)

新旧役員感謝の集い

2025年10月11日(土)、新宿区四谷の「ILE DE PASSION」にて、新旧役員の皆さまをお迎えし、感謝の集いを開催しました。

約3時間、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。これまで法人を力強く支えてくださった旧役員の皆さまに、心からの感謝をお伝えするとともに、新たに就任された役員の皆さまには、今後の法人運営への期待を込めて温かいエールを送りました。

旧役員の皆さまの長年のご尽力により築かれた基盤を大切にしながら、新体制でさらに前進してまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



前列一番右側が小倉要先生

2024年度 寄付金受領感謝報告

2024年4月1日から2025年3月31日までに受領した寄付金について、感謝を込めてご報告いたします。また、紙おむつ、ベビー服、玩具、食材・飲料など、多くの物品寄付もいただいております、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

寄付金総額 14,709,750円

ご寄付をお寄せくださった皆様(敬称略)

愛知 芙美子	大山 美和子	久保田 潤	高浦 勝寿	原田 裕子	宗像 雅子
赤塚 紀彦	小野 雄一郎	駒崎 幸	高橋 清一	久松 武子	村岡 弘
秋山 高宏	岡崎 瑠美子	粉川 貴司	高木 雄太	外村 信太郎	村岡 えり子
熱田 日出丸	尾崎 百合子	小早川 淳子	高橋 和代	古田 徹	村岡 海斗
阿部 陽子	奥山 明彦	小林 尊生	竹内 よし子	古谷 哲也	武藤 修明
乾川 日出夫	奥野 宣子	小林 明信	田中 小百合	藤澤 綾子	武藤 素明
伊藤 陽子	押切 重洋	斉藤 ミヨシ	田村 幸子	藤澤 晴子	元橋 三千代
飯島 洋二	垣内 国光	四ヶ所 大亮	立石 洋子	藤田 奈巳	モテギ ジュンイチ
池田 町子	掛川 亜季	実光 博幸	谷中 信一	藤原 誠	柳 俊一郎
磯部 日出夫	梶ヶ谷 洋子	清水 真一	天童 裕	舟山 奈穂子	八幡 則子
稲垣 純一	片倉 昭子	清水 裕子	中丸 有里	福島 穆	山崎 美貴子
岩本 和雄	片山 雅子	菅原 慎矢	中曾根 幼子	福田 敏朗	山田 琢史
岩本 隆子	加藤 実三	杉江 栄美子	中村 晶子	福田 裕代	吉澤 貞雄
上野 まり子	加藤 貴行	杉山 享	那須 史子	牧 甫	米澤 瑛子
鷺沢 誠	亀田 卓由	鈴木 浩之	縄倉 尚子	馬見塚 統子	渡辺 久子
宇都 榮子	河内 ともみ	鈴木 美邦	西村 文子	宮沢 成実	渡邊 洋子
永幡 紀明	河津 英彦	関 幸子	野島 民	宮本 泉	
遠藤 久江	菊地 邦夫	セキ アサコ	橋本 康彦	溝端 健二	
大島 紀子	菊田 桂子	芹澤 可奈子	林 千尋	三田 路子	
太田 清子	北澤 順一	清田 研	林 真希子	冥賀 令	

24時間テレビチャリティー委員会
NUK建築計画事務所
SOMA東京
そろそろ会
もりた眼科小児科
イトーヨーカドー労働組合
ヒカリ薬局
(株)サウンドハウス
(株)ニットク
(株)フローリッシュ
(株)セリアコーポレーション
(株)ジュー

(株)ティーワークス
(株)渋谷不動産エージェント
(株)bliss
一般社団法人 無憂樹
一般財団法人日本児童養護施設財団
二葉くすのき保育園父母の会
信濃町教会教会学校
東中野教会 有志
四谷地区民生児童委員協議会
国際ソロプチミスト東京弥生
学校法人平田学園
女子学院

小平市更生保護女性会
子ども研究会
日野台教会
早稲田ロータリー
昭和会館
柴田商店
瀧澤建設
玉川学園
白百合学園 小百合会
浄土宗西光庵
調布粕江更生保護女性会
青少年交流館

いただいた寄付金は、施設で生活する子どもたちや、若者・退所者への生活サポート、資格取得のための支援、老朽化した保育園の遊具や園庭の新調・修繕などに活用させていただきました。

物品をご寄付くださった方、匿名希望の方、銀行振込による寄付者の方(個人情報保護の観点から連絡先の提供を受けられないため、掲載の可否確認ができません)については、名簿に掲載しておりません。万が一、当方の手違いで記載されていない方がいらっしゃいましたら、次号にて訂正いたしますので、お手数ですがご一報ください。

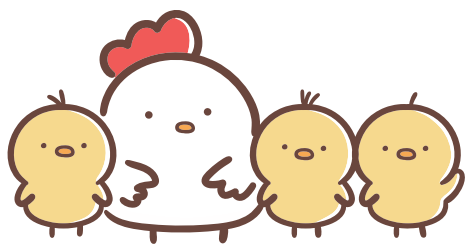


✧ 寄付金活用報告：二葉くすのき保育園の築山を改修しました！ ✧

新宿区旭町から調布市国領町に移転して以来、くすのき保育園は園庭の中央にある大きな楠の樹とともに歴史を刻んできました。園庭は乳児庭と幼児庭に分かれ、それぞれの外遊びの時間と空間を確保できるようになっています。乳児庭には歩行の安定を促す築山があり、子ども一人ひとりの成長や発達に応じた遊びができる空間です。

このたび、子どもの発達を長年支えてきた築山の土壌侵食が進んだため、皆さまからのご寄付を活用し、補修工事を実施しました。築山には芝を敷き、緑が美しい空間に生まれ変わっています。

一年を通じて、子どもたちが園庭で自然とたくさん触れ合えることを願って——ありがとうございました。
(二葉くすのき保育園 園長 森本 裕美)



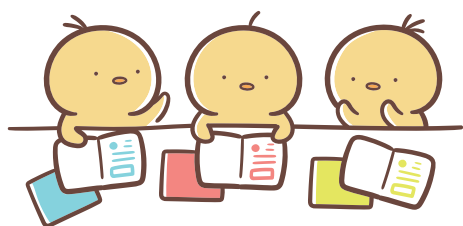
✧ アニュアルレポート2024-2025を作成しました ✧

当法人初の試みとして、2024年度事業報告および2025年度事業計画をまとめた「アニュアルレポート2024-2025」を発行しました。

今回が初めての発行となるこのレポートには、私たちの一年間の歩みと、取り組みの方向性をまとめていきます。当法人の活動や思いをより多くの方に知っていただくために、ぜひご覧ください。



こちらのQRコードからご覧になります
(PDF ファイル)



「二葉支援の会」への寄付のお願い

二葉保育園では、「二葉支援の会」が中心となって、法人内の各施設の事業や組織運営を支えていく活動をしています。ご寄付は、年一口5,000円以上をお願いしておりますが、金額は問わず、一人でも多くの方にご支援を頂きたいと思っております。ご入会・ご支援頂ける方はぜひ当法人本部までご連絡ください。

★当法人へのご寄付は社会福祉事業への寄付として確定申告をして頂くと税制上の優遇措置(寄付金の税額控除)が受けられます。詳しくは当法人本部までお問い合わせ下さい。

「二葉支援の会」 お問い合わせ

社会福祉法人二葉保育園 法人本部

電話 **03-3341-1205** (平日10時~17時)

E-mail **info@futaba-yuka.or.jp**

郵便振替

口座番号：00120-2-30321

口座名義：社会福祉法人二葉保育園

社会福祉法人二葉保育園ホームページの「寄付のお願い」ページからお手続き頂けます。

クレジットカード



この度、Syncable(シンカブル)のクレジットカード等寄付システムに変更しました。こちらのQRコードをご活用ください。Amazon Payもご利用いただけます。マンスリーサポーターも募集中！



社会福祉法人 二葉保育園 概要

法人本部

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

設立：1900年(明治33年)

理事長：金子 恵美

常務理事：森本 裕美

理事：河津 英彦、福田 敏朗、雑賀 真、武藤 素明、菅原 淳史

評議員：磯谷 文明、園 武友、関原 陽子、貫名 通生、浦上 充、竹内 よし子、松田 京子、川松 亮、嵐 祐子

監事：佐々木 俊、潮谷 恵美

二葉乳児院・地域子育て支援センター二葉

院長：長田 淳子

児童定員：40名

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

二葉学園

統括園長：武藤 素明

園長：長尾 幸二 副園長：星 直倫

児童定員：58名(グループホーム8ヶ所を含む)

所在地：本園 〒182-0035

東京都調布市上石原2-17-7

二葉南元保育園

園長：橋爪 主税

児童定員：110名 専用型一時保育：10名

所在地：本園 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

二葉くすのき保育園

園長：森本 裕美

児童定員：97名

所在地：〒182-0022

東京都調布市国領町3-8-15 都営くすのきアパート1号棟

二葉むさしが丘学園

園長：菅原 淳史 副園長：渡辺 剛史

児童定員 本園：48名(一時保護6名を含む)

グループホーム：30名

所在地：本園 〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1

自立援助ホーム トリノス

ホーム長：相原 信一

児童定員(男子)：6名

所在地：東京都日野市

(成人を含む利用者の住所地となっているため非公開)

二葉とこども39号 2026年 1月10日発行 編集・発行 社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」

〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地 TEL：03-3341-1205 法人本部事務局 <https://www.futaba-yuka.or.jp>